

NHK中级日语

〔日〕对外日语教育振兴会 编
日语磁带编辑委员会

北 京 出 版 社

NHK 中 级 日 语

[日]对外日语教育振兴会
日语磁带编辑委员会

张生林 叶幼华 杨寿期 编译

北 京 出 版 社

Intensive Course in Japanese
Intermediate

对外日本語教育振興会 編集
日本語テープ編集委員会

根据(株)ランゲージ・サービス 1980年7月版编译

NHK 中级日语

NHK Zhongji Riyu

〔日〕对外日语教育振興会 编
日语磁带编辑委员会

张生林 叶幼华 杨寿聃 编译

*
北 京 出 版 社 出 版
(北京崇文门外东兴隆街51号)

新华书店北京发行所发行

北 京 印 刷 一 厂 印 刷

*
850×1168毫米 32开本 15.75印张
1985年6月第1版 1985年6月第1次印刷
印 数 1—30,000

书 号: 7071·1022 定 价: 3.05元

原 序

本《NHK 中级日语》教材,是为学完《NHK 初级日语》程度的学员编写的。为了适合中级日语学习的特点,在精心设计本教材时,充分注意了和初级日语教材的特点相结合。因此,具有初级水平的学员,使用本教材时,不会发生困难。

毫无疑问,在初级教程中清晰而正确的录音磁带,是非常重要的;在中级教程中,音质优美、准确的录音磁带,也同样起着非常重要的作用。

中级日语教程和初级日语教程的主要区分之一,在于安排听、说、读、写时,重点放在哪一方面。中级教程的重点,放在读、写,并且兼顾听、说;初级教程则以听、说为重点。为了达到这样的学习目的,编入教材里的文章,均经过慎重挑选,学员们通过学习,就能掌握当代实际使用的日语。

因为在教材中包括相当数量有关日本社会、日本文化的文章,学员们使用本教材,在理解日语方面、在灵活应用日语方面,均能达到较高水平。使用本教材,还能在无意中获得大量的有关日本的知识,并且还能了解日本人观察事物的方式和方法。

学员们始终按照提示学习本教材,就能毫无困难地阅读报刊、小说和学术著作(有时需要查阅词典)。此外在听说方面,不但能流畅自如,适应各种场合,并且能听懂大学讲课,参加学术讨论。

NHK 编辑部主任

阪田雪子

《NHK 中级日语》的内容及其使用方法

一、《NHK 中级日语》包括正文十五课和辅助教材两篇。

本书配有日本广播协会录制的盒式录音带八盒，每盒一小时。为了方便，录音带的每一面录一课，于第八盒的第二面，录辅助教材两篇。

二、第一课至第十五课，每课教材分以下五部分：

1. 生词表(新出语)。包括单词和词组。
2. 课文(本文)。附参考译文。
3. 用例(用例)。包括惯用型和惯用词组等。附参考译文。
4. 会话(会话)。附参考译文和注释。
5. 会话训练。(会話の練習)。

三、各部分的目标及使用方法

每课分成以上五部分，这五部分又可划分为两组，生词表、课文和用例为第一组，目的在于提高读、写能力；会话和会话训练为第二组，目的在于提高听、说能力。这两组五个部分的教材，都有录音。

本教材内的所有汉字和假名，均采用了标准的书写方式。除会话训练外，所有汉字都一律标注假名。

1. 生词表和课文

课文是一课的核心，它的目的在于提高书写语言的水平。为了实现这一目的，本书编者精心安排了一些从日常生活到专门学术用的句子形式。譬如第一课和第二课，安排了一些在初级课程中学到的日常会话在文章中的表现形式(主要在句子结尾时不同)。这样开始，就能够顺利地过渡到中级课程。和口头语言成鲜明对

比的是第十四课和第十五课,这两课是典型的学术论文,有许多词语和表现形式是日常会话中所没有的。第十课和第十三课,虽然并不完全是特殊的文学表现形式,但提供了具有日本随笔特点的句子。第五课提供了一种一开头就谈本题、省去客套的书信书写方法。其他各课的课文,也都具有不同的风格和特点。

课文附参考译文。为了便于检查对照,尽量采用了逐字直译。但也注意到译文的流畅,合乎汉语规范。

在课文中出现的所有单词和词组,未学过的都列入了生词表。但在《NHK 初级日语》中已经出现过的,不再列入。另外,专有名词的注释,也力求简明扼要。

在生词表中,对生词、词组的注释,并不仅限于课文中使用的意思,常用的其他词义,也已一并注上了。复合词和派生词,除原词外,还将该词所包括的各构词成分,分别加以注释。有的名词来源于动词,则对该动词另加注释。具有两种词类的词(如:兼有名词和サ变动词者),在生词表中只列一项,但在括号内标明不同的词类。形容动词,则按照通例,不标出基本形词尾「だ」。

课文的学习,可以采用下列方式:

首先,要一面听录音一面对照课文,以便对整个课文有个大致的了解。然后,在掌握了生词表上的单词和词组的基础上,通读课文,以求达到全面理解。自认为已经理解课文,再对照译文,检查一下自己的理解程度。参考译文,只是用来帮助检查理解程度的,如果一开始就依靠参考译文,则仅能知道课文的内容,而不能真正理解和掌握课文中的句子结构、词和词组。

2. 用例

用例这一部分是课文中难于掌握的重要的句子结构、句型以及惯用词组等。每一用例都附有相当数量的例句。这样,就可以帮助和引导学员更加精确地理解课文,使用这些惯用结构。

在用例部分也出现一些生词。因为除了有关的句型外,其他

的语法结构比较简单,学员们只要稍微查阅词典,就可以了解这些生词的意思。用例也附有参考译文,它的应用和课文的参考译文一样,是为了检查理解程度的,应该在经过努力弄清各项用例的意思后,再翻阅参考译文。

3. 会话和会话训练

安排这两部分的,目的是为了在中级教程中提高口语的能力。教程的安排是以学员已经能够听懂并且能够简单地进行陈述或提出问题为前提。请注意,在会话这一部分,加进了一些反映内心的感触、态度、意向、愿望等语气的表达方式。为此,在对话中有许多地方用了诸如「らしい」「でしょうね」「ですわね」等表达。这样,学员就能毫不费力地对生动的日语会话有所了解。

这一部分的重点在于培养学员掌握逐渐增多的复杂结构,而这种复杂结构是经常使用的。能够在孤立的句子中掌握句型的使用法,不能算会讲日语,还有必要在自然的会话语流中掌握经常出现的定型的问答形式。所有这些,在会话训练部分中,均作了适当安排。

最后,尤其在理论性的话题中,要在培养学员们能够进行一定长度的口述。有关会话训练方面,本书的前半,集中于逐渐加长的孤立句子的句型练习,本书的后半,集中于用日语开展讨论时常用的一些方式。这些方式,足可以供学员们用来作为谈论自己的想法或意见的基础。

前三课的会话,由浅入深,是从初级到中级的中间阶段。除了个别的单词或语气表达外,凡是完成了初级教程的学员,对这一部分的理解,应该是不会感到困难的。以后,会话和会话训练在各课之间的难度,逐渐有较大的差别,并且在会话中的语气表达,有的是相当难的。

各课中的会话部分是为了培养学员理解日语口语能力的。会话练习部分则是为了培养学员实际应用日语口语能力的。以理解

口语为目的,和以实际应用口语为目的,二者在教材的编写上,是有一定的差别的。这样立足于二元的教材,乍一看,可能有人不能接受,但这的确是培养学员能够和日本人交谈的、最现实、最有效的方法。实践证明:如果过于偏重口语能力的培养,限制在理解口语上的努力,则学员虽然具有口语能力,但日语会话还是不会有长足的进步。譬如在第四课,学员们必须理解女性用语「～なのよ」「～ちやったわね」,不然的话,就会连最简单的日常生活用语都听不懂。但在这一阶段,并不要求女学员能够应用这样的表达,对于男学员,更没有这个必要。

会话部分中的动词的语气表达,非常重要,要求学员们对这样的语气要有相当的理解。会话训练部分,重点在于使学员能够牢固地掌握句子结构和句型的用法,这些都是在会话中不可缺少的。

4. 本书使用以下略语和符号:

(口) 口语、会话、口头语音

(敬) 敬体语

(拟) 拟声语、拟态语

(男) 男性用语

(女) 女性用语

—— 破折号,表示日语问题的汉译。

, 冒号,表示后面有有关语法、环境或背景的解释。

= 等号,表示意思几乎相同。

(名) 名词

(代) 代名词

(数) 数词

(形) 形容词

(形动) 形容动词

(副) 副词

(五) 五段活用动词

- (上一) 上一段活用动词
- (下一) 下一段活用动词
- (カ) カ行变格活用动词
- (サ) サ行变格活用动词
- (自) 自动词
- (他) 他动词
- (助动) 助动词
- (助) 助词
- (连体) 连体词
- (接头) 接头词
- (接尾) 接尾词
- (构词) 构词成分
- (感) 感叹词
- (接) 接续词
- (组) 词组

目 录

第一課	訪問……………	1
第二課	隣室の学生（正夫の日記から）……………	27
第三課	ふすまの部屋……………	54
第四課	二つの投書……………	77
第五課	旅行計画……………	108
第六課	地震・雷・火事・おやじ……………	136
第七課	盆と正月……………	165
第八課	豊作貧乏……………	194
第九課	一方交通の文化……………	225
第十課	蛋白質の歴史……………	258
第十一課	都会と若者……………	285
第十二課	日本語と漢字……………	317
第十三課	四季の移り変わり……………	350
第十四課	古代史ブーム……………	387
第十五課	「ウチ」の意識……………	424
補助教材		
一、蜘蛛の糸	芥川龍之介……………	462
二、案内者（抄）	寺田寅彦……………	473

第一課 訪 問

新出語

ほうもん
訪問
いつしゅうかん ごと
一週間後
くん
～君

(名、他サ) 访问、拜访
(组) 一个星期以后
(接尾) (男子称呼平辈或晚辈时用。尊敬程度较“さん”差。) 君

たず
訪ねる
かれ
彼

(他下一) 拜访、访问
(代) 他

してつ
私鉄
えんせん
沿線
かんせい
閑静

(名) 私营铁路
(名) 沿线
(形动) 静谧、幽静、安详

じゅうたくが
住宅街

(名) 住宅区

としん
都心

(名) 市中心

おうせつ ま とお
応接間に通す

(组) 领进客厅

おうせつ ま
応接間

(名) 会客厅、起居室

ま
-間

(接尾) (会客) 室、(起居) 间

とおす
～に通す

(他五) 让进、让入

で くる
出て来られる

(组) (出て来る的尊敬语) 出来、进来

しゅつばんかんけい
出版関係

(名) 出版方面

しゅつばん
出版

(名、他サ) 出版

かんけい
関係

(名) 关系

しょうかい
紹介

(名、他サ) 介绍

しよたいめん
初対面

(名) 初次见面

たいめん
対面

(名、自サ) 面对面、见面)

おや こ
親子

(名) 父子、父母和子女

すっかり	(副) 完全、全部、彻底地
お世話になる	(组) 承蒙照料、承蒙关照
世話	(名) 照料、关照
日本に来るにあたって	(组) 当来到日本时
保証人	(名) 保证人、保人
保証	(名、他サ) 保证
案内	(名、他サ) 向导、引导
アパートさがし	(组) 找公寓
さがす	(他五) 寻找、寻求
手伝う	(他五) 帮助、帮忙
家庭	(名) 家庭
初めて	(副) 初次、最初
畳	(名) (日本式房间铺的、用草编成的) 铺席
うまく	(副) 熟练地、顺利地
緊張	(名、自サ) 紧张
日本間	(名) 日本式房间
洋間	(名) 洋式房间
まずは	(组) (まず+は) 首先、姑且、总算
ほっとする	(自サ) 松了一口气、放下心来
一方では	(组) 一方面
期待	(名、他サ) 期望、期待
裏切る	(他五) 落空、违背、背叛
～気がする	(组) 感觉到……
近況	(名) 近况
話題	(名) 话题
ほめる	(他下一) 夸奖、赞美
どうも	(副) 总觉得、怎么也、实在
敬語の使い方	(组) 敬语的用法
敬語	(名) 敬语
女性	(名) 女性、女子、妇女
受け応え	(名) 答应、回答

まちがいたらけ	(組) 错误百出
まちがい	(名) 错误
～だらけ	(接尾) 满、净
夕食 ゆうしょく	(名) 晚饭
お客様 きやく 扱い あつかい	(組) 当客人招待
扱い あつかい	(他五) 对待、处理、使用
提案 ていあん	(名、他サ) 意见、提案、建议
茶の間 ちのま	(名) 日常开饭的房间、起居室
ごちそうになる	(組) 被款待、请吃饭
こたつ	(名) 日本式暖炉、被炉
茶たんす ちやたんす	(名) 茶具柜橱
たんす	(名) 衣柜
实感 じつかん がわく	(組) 切实感到
实感 じつかん	(名) 真实感
わく	(自五) 涌现、出现
箸 はし	(名) 筷子
食事 しょくじ	(名、自サ) 饭食、餐、吃饭
久しぶり ひさびさ に	(副) 相隔较长的时间
家庭的 かていてき	(形动) (帶有) 家庭气氛
雰囲気 ふんいき	(名) 气氛
味わう あじ	(他五) 享受、品尝
何 なに にもまして～	(組) 比什么都……

ほん ぶん 本 文

にほん つ いっしゅうかんご なかむらくん うち たび
 日本に着いて一週間後、わたしは中村君の家を訪ね
かれ うち してつ えんせん えき とお
 た。彼の家は私鉄の沿線で、駅からあまり遠くない、
かんせい じゅうたくがい としん やくいち じかん
 閑静な住宅街にある。都心からは約一時間かかった。
おうせつ ま とお なかむらくん かあ
 応接間に通され、中村君のお母さんにあいさつをし

ているところに、お父^{とう}さんも出^でて来^こられた。お父^{とう}さん
は出^{しゅっぱんかんけい}版関係の仕事^{しごと}をな^にさっている。二年^に前にアメリ^にカ
に來^これた時^{とき}に、山田先生^{やまだせんせい}の紹^{しょう}介^{かい}でお会^あいしているの
で、初^{しゅ}対^{たい}面^{めん}ではない。

考^{かん}えてみれば、中^{なか}村^{むら}さん親^{おや}子^こにはす^せっか^わりお世^せ話^わに
なっている。お父^{とう}さんには、今^{こん}度^ど日^に本^{ほん}に來^くるにあ^あた^あっ
て保^ほ証^{しょう}人^{にん}にな^はっていただ^はいたし、春^{はる}男^{おくん}君^{くん}には、大^{だい}学^{がく}に
案^{あん}内^{ない}してもら^てったり、アパ^てートさ^つがしを手^て伝^{つた}ってもら
ったりした。

日^に本^{ほん}の家^か庭^{てい}を初^はめ^はて訪^{たず}ねるわ^わたしは、畳^{たたみ}の上^{うへ}にう^うま
くす^{きん}わ^{ちよう}れるだ^{らう}かなどと、緊^{きん}張^{ちよう}して^いたの^のだ^が、通^{とお}
さ^へれた部^へ屋^やは日^に本^{ほん}間^まではな^なく、小^{ちい}さいが洋^{よう}間^まで、ま^まず
はほ^いっとした。し^いかし、一^{いっ}方^{ぱう}ではち^きょ^うと期^き待^{たい}を裏^{うら}切^ぎ
ら^られたよ^きうな気^きもした。

山^や田^{まだ}先^{せん}生^{せい}の近^{きん}況^{きやう}やわ^わたしの家^か族^{ぞく}のこ^こと^とな^などが話^わ題^{だい}に
な^なった。日^に本^{ほん}語^ごが上^{じやう}手^ずだ^だとほ^{けい}め^いら^られた^が、ど^どう^うも敬^{けい}語^ご
の使^{つか}い^かたはむ^{とく}ず^{じやせい}かしい。特^{はな}に、女^{かた}性^{せい}と^との^う話^わし^し方^{かた}にな^なれ
て^てい^いない^いので、お^{かあ}母^{はなし}さん^うの^{こた}話^わにはう^うま^まく受^うけ^{こた}え^えが^が
き^こな^こくて困^{こま}った。き^こっ^ことま^まち^まが^まい^いだ^だら^らけ^けだ^だった^たら^らう
と、今^{いま}思^{おも}うと恥^はず^かしい。

夕^{ゆう}食^{しょく}は、お^{きやく}客^{かく}さん扱^{あつか}いはや^はめ^めよう^{よう}と^とい^いう春^{はる}男^{おくん}君^{くん}の提^{てい}
案^{あん}で、茶^{ちや}の^ま間^までい^いっ^いし^しょ^ょに^にご^ごち^ちそ^そう^うに^にな^なる^るこ^こと^とに^にな^なっ
た。茶^{ちや}の^ま間^まにはこ^こた^たつ^つが^があ^あり^り茶^{ちや}だ^だん^んす^すが^があ^あり、初^はめ^めて
日^に本^{ほん}人^{じん}の家^か庭^{てい}に^にい^いる^ると^とい^いう実^じ感^{かん}が^はわ^はいた。箸^{はし}で食^たべ^べた

にほん　しょくじ　　ひさ　　かていてき　ふん
日本の食事もおいしかったが、久しぶりに家庭的な雰
い　き　あじ　　なに
囲気を味わうことができたことは、何にもましてうれ
しかった。

参考译文

访　　问

来到日本过了一个星期，我访问了中村君的家。他家在私营铁路沿线、离车站不太远的、静谧的住宅区。从市中心坐车到这里，约需一个小时。

把我领到了客厅。正在和中村君的母亲寒暄时，他父亲也进来了。他父亲从事出版方面的工作。两年前来美国时，由于山田老师的介绍见过面，所以不是初次相见。

回想起来，多蒙中村先生父子二人的照料。这次来日本的时候，多亏他父亲当保证人，并由春男君带我到大学，帮助我寻找公寓。

我初次访问日本家庭，心想，在铺席上坐着这类事情不知能否适应，心情有点紧张。但领我进的房间，不是日本式的，而是不大的西洋式房间，总算使我松了一口气。但另一方面，也使我有一点期望落空的感觉。

我们谈了山田老师的近况和我的家属等。他们夸奖我日语说得好，但我总觉得敬语的用法很难。尤其是，由于不习惯和妇女谈话，不能顺利地应酬他母亲的话，感到很窘。我说的话，一定是错误百出吧。如今回想起来，感到惭愧。

按照春男君不再把我当做客人的意见，他们请我在日常开饭的房间，一起吃晚饭。这里有日本式的暖炉，有茶具柜橱，这才使

我切实感到是置身于日本人的家庭之中。使用筷子吃的日本饭食,也是很好吃的,并且享受家庭气氛,已是长时期没有过的事情了,这尤其令人高兴。

用 例

1. ・日本に着いて一週間後、わたしは中村君の家を訪

ねた。(1 注: 数目字表示此句在课文中的行数。下同。)

- (1) 大学に入学して一カ月後、先輩たちと日光に旅行をした。

- (2) 日本に着いて三日目にホテルからアパートに移った。

- (3) 夏休みが終わってすぐ試験があるそうだ。

- (4) 家に帰ってまもなく雨が降りだした。

- (5) 彼は日本に来て十年になる。

参考

- (6) 大学を卒業する一年前に戦争が始まった。

2. ・中村君のお母さんにあいさつをしているところに、お父さんも出て来られた。(4)

- (1) 噂をしているところに、彼が現れた。

- (2) 買物に出かけようとしているところに、友だちが来たのでいっしょに行くことにした。

- (3) 「ひらがなは全部読めますか。」

「いいえ、今、習っているところです。」

(4)「^{いま}今、^{しょくじ}ちょうど食事が済んだところです。」

(5)「^{いま}今、^{かいぎ}会議が^お終わるところですから、^{しょうしょう}少々お待ち^{くだ}下さい。」

3.・^に二年前に^こアメリカに^{とき}来られた時に、^{やまだ}山田先生の^{しょう}紹介で^あお会いしているので、^{しょたいめん}初対面ではない。(6)

(1) このことばはもう^{なら}習っている。

(2) 彼は^{かれ}三度^{さんど}ヨーロッパ^{りょこう}旅行をしている。

(3)「その話は^{はなし}私は^{わたし}聞いて^きいません。」

(4)「^{なんど}何度も^{てがみ}手紙を出しているのに^{へんじ}返事が^こ来ないので
す。」

(5)「^{こんげつ}今月の^{やちん}家賃はもう^{はら}払っていますよ。」

4.・^{こんど}今度^{にほん}日本に^く来るにあたって^{ほしょうにん}保証人になって^いただ
いたし、^{はる}春男君には、^{だいがく}大学に^{あんない}案内してもらったり、
アパートさがしを^{てつだ}手伝ってもらったりした。(10)

(1) この^{じっけん}実験をするにあたって、いくつ^{ちゅうい}か注意しな
ければならないことがある。

(2) 大学を^{だいがく}卒業するにあたって、^{せわ}お世話になった^{せん}先
生が^{せい}たに^{きねんひん}記念品をおくことにした。

(3) 今度の^{こんど}事業を^{じきょう}成功させるにあたっては、^{せいこう}多くの
^{ひとびと}人々の^{きょうりょく}協力が^{ひつよう}必要である。

(4) 来年度の^{らいねん}予算案作成にあたって、^{じんけんひ}人件費の^{さくげん}削減